



津山誠心会議
中島完一

今なぜ美術館整備なのか

Q 「津山市美術館構想審議会」では、美術館自体が必要かどうかについても議論されると聞いているが、施設の規模や展示物、維持経費について市長の考えは。

A 津山市の身の丈にあった規模を審議会で検討していただく。展示物は莫大な費用をかけて購入することは難しく、津山市が所蔵している美術品と、他の美術館からの借り受けなどにより、工夫をこらした企画展示が必要である。



津山郷土博物館

Q 博物館の整備を優先すべきでは。

A 老朽化している郷土博物館の整備は今後の課題であるが、まずは美術館に集中して検討したい。

他の質問 津山駅前整備



公明党津山市議団
原 行則

産学官連携で
企業活性を！！

Q 津山市での産学官連携の取り組み状況は。

A 津山高専と美作大学と連携している。高専プラザは会員企業69社で産学交流会、高専の教授による企業での出前講座、研究室の相互訪問等で新商品が生まれている。美作大学とは食料産業クラスターの商品開発で協力をいただいている。

米価急落で
厳しい農業の現状は？

Q ①津山市の農業者の平均年齢と平均農地面積は。
②今年の米価は。

A ①全体の平均年齢は58.2歳で、そのうち主に農業に従事している人は平均70.2歳。一戸当たりの平均営農面積は72アールである。
②農協の概算金でコシヒカリ1等9,200円、あきたこまち1等8,200円となっている。



稲刈りの済んだ田んぼ

他の質問 国保医療



日本共産党津山市議団
久永良一

観光拠点づくりに向け
さらなる促進を！



大橋から宮川を眺めて

Q 観光客を感動させる城下町の町並み景観の「復元」と、経済波及効果増の動きを加速するために①町家の修理・修景を促進②食事処、工房などの出店は容易でないため、促進させる専門的なチームをつくる③城南の「城下町づくり」の短期と長期の計画を策定する④宮川を観光スポットとする。

A ①26年度は7件の町家の修理・修景を行い、可能な限り集中的、計画的に取り組む②地元、関係団体と協議する③地域のご意見をお聞きし「城跡周辺歴史まちづくり計画」をとりまとめる④魅力的景観の創造に努め、本年度から県の協力を得てパラペット*の美装化にも取り組む。

※パラペットとは…

河川のかさ上げ護岸のこと。

他の質問 防災、教育